

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	大学院の設置								
フリガナ設置者	カクコホクシン フクオカジョガクイン 学校法人 福岡女学院								
フリガナ大学の名称	フクオカジョガクインカホクダクイフクガクイン 福岡女学院看護大学大学院 (Graduate School of Fukuoka Jo Gakuin Nursing University)								
大学本部の位置	福岡県古賀市千鳥1丁目1番7号								
大学の目的	福岡女学院看護大学大学院は、キリスト教に基づく福岡女学院創立の精神に則り、看護・保健医療分野に関する学問についての学術の理論及び応用を教授・研究し、その深奥を極め、看護・保健・医療・福祉の質の向上に貢献する人材を育成することを目的とする。								
新設学部等の目的	看護学研究科看護学専攻は、キリスト教精神及びヒューマンケアリングに基づき、シミュレーション教育を中心とした看護学教育が実践できる教育者・研究者を育成し、社会に貢献することを目的とする。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部】 看護学部 看護学科 14条特例の実施
	看護学研究科 [Graduate School of Nursing] 看護学専攻 [Course of Nursing] 計	年	人	年次人	人	修士 (看護学) [Master of Science in Nursing]	令和5年4月 第1年次	福岡県古賀市千鳥 1丁目1番7号	
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	看護学研究科 看護学専攻	講義	演習	実験・実習	計	30単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
			人	人	人	人	人	人	人
	新設分	看護学研究科看護学専攻 (修士課程)	9 (9)	8 (8)	5 (5)	1 (1)	23 (23)	0 (0)	5 (5)
	計		9 (9)	8 (8)	5 (5)	1 (1)	23 (23)	0 (0)	5 (5)
既設分	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
計		— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
合計		9 (9)	8 (8)	5 (5)	1 (1)	23 (23)	0 (0)	5 (5)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計	大学全体				
	事 務 職 員		10 (10)	9 (9)	19 (19)					
	技 術 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)					
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)	3 (3)	4 (4)					
	そ の 他 の 職 員		0 (0)	2 (2)	2 (2)					
	計		11 (11)	14 (14)	25 (25)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地 17,913.95㎡借用 ①17,371.74㎡ (借用期間 平成 19(2007)年4月1 日～令和 39(2057)年3月 31日) ②542.21㎡ (借用期間 令和 元(2019)年9月1 日～令和 21(2039)年8月 31日) 運動場用地に は、体育館 (1,086.43㎡)を 設置している				
	校 舎 敷 地	4,076.71 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	4,076.71 ㎡					
	運 動 場 用 地	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡					
	小 計	4,076.71 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	4,076.71 ㎡					
	そ の 他	12,087.90 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	12,087.90 ㎡					
	合 計	16,164.61 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	16,164.61 ㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
		8,035.30 ㎡ (8,035.30 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	8,035.30 ㎡ (8,035.30 ㎡)					
教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 情報処理学習施設は、語学学習施設を兼ねる				
	9 室	18 室	5 室	1 室 (補助職員0人)	0 室 (補助職員0人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数	学長室及び学部 長室は研究室を 兼ねる				
		看護学研究科看護学専攻			2 3 室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での共 用分を含む 福岡女学院大 学・短期大学部 の共用分10,439 冊含む		
	大学院 看護学研究科 看護学専攻	35,253 [3,641] (34,740 [3,563])	953 [903] (953 [903])	903 [903] (903 [903])	870 (850)	5,601 (5,546)	0 (0)			
	計	35,253 [3,641] (34,740 [3,563])	953 [903] (953 [903])	903 [903] (903 [903])	870 (850)	5,601 (5,546)	0 (0)			
図 書 館		面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		439.65 ㎡		116 席		35,500 冊				
体 育 館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
		1,086.43 ㎡		なし						
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	研究費(教員1人当 り、共同)、図書 購入費は研究科単 位での算出不能な ため、学部との合 計 図書購入費には電 子ジャーナル、 データベース、そ 他の経費を含む 設備購入費は、大 学院のみ
		教員1人当 り研究費等		410千円	410千円	－千円	－千円	－千円	－千円	
		共同研究費等		700千円	700千円	－千円	－千円	－千円	－千円	
		図 書 購 入 費	7,052千円	7,600千円	7,600千円	－千円	－千円	－千円	－千円	
		設 備 購 入 費	1,670千円	584千円	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	
	学生1人当 り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	福岡女学院看護大 学卒業生 第1年 次納付金 1,000千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、雑収入等								

既設大学等の状況	大学の名称	福岡女学院看護大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	看護学部 看護学科	年	人	年次人	人		倍		福岡県古賀市千鳥1丁目1番7号
		4	100	—	400	学士(看護学)	1.13 1.13	平成20年度	
	大学の名称	福岡女学院大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	人文学部 現代文化学科	年	人	年次人	人		倍		福岡県福岡市南区 日佐3丁目42番1号
		4	105	3年次 5	420	学士(人文学)	1.08 1.13	平成13年度	令和3年度入学定員増(5人)(人文学部 現代文化学科)
	言語芸術学科	4	50	3年次 2	204	学士(人文学)	1.01	平成25年度	
	メディア・コミュニケーション学科	4	50	3年次 2	204	学士(人文学)	1.12	平成25年度	
人間関係学部 心理学科	4	100	3年次 4	408	学士(人間関係学)	1.05 1.14	平成11年度		
子ども発達学科	4	105	3年次 4	458	学士(人間関係学)	0.97	平成11年度	令和3年度入学定員減(△15人)(人間関係学部子ども発達学科)	
国際キャリア学部 国際英語学科	4	60	3年次 2	244	学士(国際英語)	1.21 1.18	平成26年度		
国際キャリア学科	4	90	3年次 3	346	学士(国際英語)	1.24	平成26年度	令和3年度入学定員増(10人)(国際キャリア学部国際キャリア学科)	
大学院 人文科学研究科 修士課程 比較文化専攻	2	5	—	10	修士(比較文化)	0.50	平成15年度		
臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士(心理学)	1.20	平成15年度		
発達教育学専攻	2	5	—	10	修士(発達教育学)	0.10	平成27年度		
大学の名称	福岡女学院大学短期大学部								
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
英語科	年	人	年次人	人		倍		福岡県福岡市南区 日佐3丁目42番1号	
	2	100	—	200	短期大学士(英語)	0.91	昭和39年度		
附属施設の概要	該当なし								

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(看護学研究科看護学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通選択科目	看護倫理学特論	1・2前		2		○			2	3	1				兼1 隔年、オムバス、メ'イ
	健康支援論	1・2後		2		○			2	2	0	1		隔年、オムバス、メ'イ	
	看護マネジメント論	1・2前		2		○			1	2				兼1 隔年、オムバス、メ'イ	
	小計（3科目）	—	0	6	0	—			5	6	1	1	0	兼1 —	
専門基礎科目	ヒューマンケアリング看護論	1前	2			○			2	1				兼1 オムバス、メ'イ	
	看護シミュレーション教育学特論	1後	2			○			2		1			兼3 オムバス、共同(一部)、メ'イ	
	看護教育学特論	1前	4			○			2	2	1			兼3 オムバス、メ'イ	
	小計（3科目）	—	8	0	0	—			6	3	2	0	0	兼4 —	
専門科目	看護シミュレーション教育学演習	2前	2				○		1		1			兼2 オムバス、共同(一部)、メ'イ	
	看護教育学演習	1後	4				○		7	8	3	1		兼2 共同(一部)、メ'イ	
	小計（2科目）	—	6	0	0	—			7	8	3	1	0	兼2 —	
看護研究科目	看護研究方法論Ⅰ	1前	2			○			4	2				兼1 オムバス、メ'イ	
	看護研究方法論Ⅱ	1後	2			○				5				兼1 オムバス、メ'イ	
	特別研究	1～2通	8				○		9	8	3			兼1 メ'イ	
	小計（3科目）	—	12	0	0	—			9	8	3	0	0	兼1 —	
合計（11科目）		—	26	6	0	—			9	8	5	1	0	兼5 —	
学位又は称号		修士（看護学）			学位又は学科の分野			保健衛生学関係（看護学関係）							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
共通選択科目から選択4単位以上、専門基礎科目から必修8単位、専門科目から必修6単位、看護研究科目から必修12単位の合計30単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受けたうえ、本大学院が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 ただし、原則として20単位を年間履修登録の上限とする。							1 学年の学期区分			2 期					
							1 学期の授業期間			1 5 週					
							1 時限の授業時間			9 0 分					

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うおとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行うおとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行うおとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

授 業 科 目 の 概 要			
(看護学研究科看護学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通選択科目	看護倫理学特論	<p>生命倫理及び看護倫理の歴史的推移、個人の尊厳や人権等の基本的概念、倫理的意思決定の方法論について基本的知識を学ぶ。また、看護専門職者、患者の権利擁護者としての倫理的な役割と責務について学ぶ。これらの基本的な知識を基に、生命誕生や終末期における倫理や先端医療における倫理、各専門領域で起こりやすい倫理的問題やジレンマ、倫理教育について検討し、多職種と協働しながら問題解決への対処能力を養う。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(3 穴井 めぐみ/5回) 生命倫理及び看護倫理の歴史的推移、基本的概念について教授する。倫理的意思決定における基本的知識及び看護専門職者としての役割・倫理的責任についての知識を教授する。対象者、多職種など価値の明確化及び倫理的意思決定のプロセスの理解を深める。</p> <p>末期患者のケアや安楽死といった終末期医療で起こりやすい倫理的問題について教授し、事例の検討やディスカッションを通して問題解決に向けた方法の理解を深める。</p> <p>(① 八尋 陽子/2回) 看護実践の場で起こりやすい倫理的問題について事例を用いてディスカッションし、多職種協働による倫理的意思決定の方法の理解を深める。</p> <p>(② 仲道 由紀/2回) 出生前診断や代理出産といった母性領域で起こりやすい倫理的問題について教授し、事例の検討やディスカッションを通して問題解決について理解を深める。</p> <p>(21 潮 みゆき/2回) 遺伝子治療や臓器移植といった先端医療で起こりやすい倫理的問題について教授し、事例の検討やディスカッションを通して問題解決に向けた方法の理解を深める。</p> <p>(10 酒井 康江/2回) 権利擁護や多職種間での情報共有など在宅療養の場で起こりやすい倫理的問題について教授し、事例の検討やディスカッションを通して問題解決に向けた方法の理解を深める。</p> <p>(16 石井 慎一郎/2回) 隔離や拘束、患者の意思決定といった精神看護領域で起こりやすい倫理的問題について教授し、事例の検討やディスカッションを通して問題解決に向けた方法の理解を深める。</p>	隔年・オムニバス方式・メディア

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通選択科目	健康支援論	<p>ヘルスプロモーションに基づき、看護職の健康を支援する能力を向上させるために、最新の身体的・精神的・社会的健康のアセスメント方法や多職種協働による支援方法について理解を深める。また、社会の変化と高度化する医療を踏まえた健康支援のあり方や看護教育のニーズについて探求する。</p> <p>(オムニバス方式／ 全15回)</p> <p>(15 山田 小織／4回) 社会現象と健康の決定要因、看護職による健康支援の目的、ソーシャルキャピタルの醸成に向けた多職種協働による健康支援について理解を深める。授業の総括として、看護職による健康支援の展望と看護教育のニーズを探求する。</p> <p>(1 片野 光男／2回) 加齢に伴う生物学的変化等の医学的知識、臨床推論の方法と応用について理解を深める。また、最新のがん医療や緩和医療の知見を整理し、看護職による健康支援のあり方を探求する。</p> <p>(⑤ 安田みなみ／3回) フィジカルアセスメントの概念や目的について理解を深め、身体的健康のアセスメント方法に関する最新の知見を整理する。また、看護の視点における身体の観察・問診を実践する。</p> <p>(16 石井 慎一郎／3回) 社会現象とメンタルヘルスとの関係性について理解を深める。また、精神的健康のアセスメント方法について最新の知見を整理し、事例を通してウェルビーイングに向けた多職種協働による健康支援について理解を深める。</p> <p>(5 松尾 和枝／3回) 社会的健康のアセスメント方法として、最新の疫学調査やデータヘルス計画について理解を深める。また、すべてのライフステージを対象とするコミュニティエンパワメントに向けた健康支援のあり方について考察する。</p>	隔年・オムニバス方式・メディア

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通選択科目	看護マネジメント論	<p>人的資源・物的資源・財的資源・情報資源を効果的に活用し、良質な看護サービスを提供するために必要な看護マネジメントの理論や技術を教授する。組織論、リーダーシップ、人材育成、コミュニケーション、リスクマネジメント等から看護マネジメントの視点による問題解決能力を育成する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(6 福井 幸子／4回) 看護管理学のオリエンテーション、看護者の人材育成とキャリア開発(リーダーシップ・動機付け、コーチング理論等)、管理者に求められる能力を教授する。</p> <p>(1 白井 ひろ子／4回) 人的資源活用、人材育成のためのコミュニケーションスキル、ワークライフバランスと労務管理、看護職のストレスマネジメントについて教授する。</p> <p>(8 星 美和子／4回) 看護サービスのマネジメント、看護組織論、物的資源と財的資源の活用、ケアの質保証・評価等に関して教授する。</p> <p>(13 豊福 佳代／3回) 情報資源となる看護情報学の必要性と今後の展望、リスクマネジメントについて教授する。</p>	隔年・オムニバス方式・メディア

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門基礎科目	ヒューマンケアリング看護論	<p>生物学、キリスト教的世界観、看護学の視点から人間及び発達と成長、人間と環境、スピリチュアルウェルビーイングを含めた健康について理解するとともに、自己の体験をリフレクションして統合し、看護やヒューマンケアリングについて考察する。 (オムニバス方式/全15回)</p> <p>(8 星 美和子/5回) 看護学の世界観に基づく、人間、環境、健康、ケアリングについて教授する。</p> <p>(6 貞野 宏之/3回) 生物学の視点から、人間及びその発達や成長、生物と人間の関係性や進化並びに人間と環境の関係性について教授する。</p> <p>(25 金田 俊郎/3回) キリスト教的世界観に基づく人間、人間と環境、健康やスピリチュアルウェルビーイングについて教授する。</p> <p>(12 吉武 美佐子/4回) ケアリング体験のリフレクションの方法とまとめ方及び評価や分析に役立つ視点について教授する。</p>	オムニバス方式 ・メディア

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門基礎科目	看護シミュレーション教育学特論	<p>変化する社会のニーズに応えるために変革してきた看護教育の背景を理解するとともに、シミュレーション教育を支える理論や効果的な実践に関連する原理を文献や資料により理解を深める。多職種や多領域で活用するシミュレーション教育の実践を把握することで、専門領域で適用するためのシミュレーション教育の基本を理解する。 (オムニバス方式・共同(一部)／全15回)</p> <p>(② 藤野 ユリ子／5回) シミュレーション教育を支える理論やシミュレーションの一連の流れと構造、カリキュラム導入について、文献に基づき理解を深める。また、シミュレーション教育活用に向けたeラーニングやシミュレーションセンター活用について自己の教育に応用して討議できる。</p> <p>(② 藤野 ユリ子・18 吉川 由香里／3回) (共同) シミュレーション教育の効果を高める教育技法について、文献レビューを通して知見を深め教育実践に適用できる。</p> <p>(26 Mathew Lee Porter／1回) 看護カリキュラムの一般教養におけるシミュレーション教育の実践について実践例を基に授業構築や運営方法について理解を深める。</p> <p>(2 谷口 初美／2回) 海外におけるシミュレーション教育の実際や研究の動向について文献レビューを踏まえ理解を深める。</p> <p>(27 阿部 幸恵／2回) 看護教育におけるシミュレーション教育におけるVRの活用やシミュレーション教育の評価について理解を深める。</p> <p>(28 万代 康弘／2回) 多職種連携におけるシミュレーション教育や模擬患者やシミュレータ活用などシミュレーション教育を実践する環境の構築について理解を深める。</p>	オムニバス方式 ・共同(一部) ・メディア

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門基礎科目	看護教育学特論	<p>看護学教育を取り巻く社会背景やニーズ、看護教育課程の変遷と課題をふまえ、これからの看護教育を実践する基礎となる理論や教育方法、教育評価について学習する。アクティブ・ラーニングを中心とした教育方法に関する学習を通して、成人学習者の主体的な学びを支援し、学習者の動機付けや自己教育力の育成を目指した教育、評価のあり方、看護教育学の課題解決法について理解を深める。 (オムニバス方式/全30回)</p> <p>(① 八尋 陽子/9回) 国内外の看護学教育、看護教育課程の変遷と課題、継続教育、成人看護学習理論、成人学習者を支援する者の役割、学習者のレディネスと学習環境、学習意欲とARCSモデル、授業設計とインストラクショナルデザインの理解を深める。</p> <p>(/8回) ディベート、TBLとPBLの特徴と活用法、教材開発方法について理解を深める。 バズ=グループ法、ジグソー法、ワールドカフェ法の目的と特徴、実践方法と評価法について理解を深める。</p> <p>(4 新小田 春美 /3回) 看護学教育評価の考え方と教育目標との関連、教育評価、パフォーマンス評価、ルーブリック評価について理解を深める。</p> <p>(19 藤川 真紀/3回) 看護技術、看護過程の教育方法と臨地実習教育の実際、評価法について理解を深める。</p> <p>(16 石井 慎一郎/2回) 精神看護学における教育方法、ロールプレイング、リフレクション学習の特徴と活用法について理解を深める。</p> <p>(17 中村 加奈子/2回) 小児看護における教育方法の実際、小児看護技術や臨地実習教育の実際と評価法について理解を深める。</p> <p>(/3回) 母性看護における教育方法の実際、母性看護技術法や臨地実習教育の実際と評価法について理解を深める。ICTを活用した教育と教材開発について理解を深める。</p>	オムニバス方式 ・メディア

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	看護シミュレーション教育学演習	<p>効果的なシミュレーション教育のための体系化された計画となるシナリオをインストラクショナルデザインに基づき理解を深める。このプロセスにおいて、目標や学習活動・評価方法を設計するために必要な知識や最新の知見を取り入れシミュレーション教育のシナリオを作成する。また、作成したシナリオを実践し、自己の実践を評価し、課題を明確にする。</p> <p>(オムニバス方式・共同(一部)／全15回)</p> <p>(② 藤野 ユリ子・18 吉川 由香里／9回) (共同) シミュレーション教育のシナリオ設計に必要な目標設定・学習者分析・課題の設定・ブリーフィング・ファシリテータ・デブリーフィングガイドを設計する。各自が設計したシナリオの実践を共有し、指導者や学習者の体験を通して自己の実践を評価し課題を明確にする。</p> <p>(28 万代 康弘／2回) シミュレーション教育の教材設計に有用なインストラクショナルデザインの概念を理解し、シミュレーション教育のコースデザインの理解を深める。</p> <p>(② 藤野 ユリ子 / 2回) 看護学実習で臨地実習指導者と協働で実施したシミュレーション教育実践例を基に、実習代替で実践するシミュレーションシナリオ設計について理解を深める。また、シナリオを一部体験し、経験を通して多様な場でシミュレーション教育を応用するための教材設計の課題を明確にする。</p> <p>(27 阿部 幸恵・② 藤野 ユリ子・18 吉川 由香里／2回) (共同) 設計したシミュレーション教育のシナリオを実践し、自己の課題を明確にする。他者の設計したシナリオの実践を学習者として体験し、シナリオ設計における課題について討議することで理解を深める。</p>	オムニバス方式 ・共同(一部) ・メディア

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	看護教育学演習	<p>看護専門分野（領域）に関する看護教育の自己の経験を分析的に振り返り、課題を明確にした上で、新たな知見や多様な情報をもとにした教育法を創造的に設計し、実践を通して自己の教育観を深める。本科目では、専門領域の担当教員が看護教育の設計・実施・評価を実践しながら教授する。</p> <p style="text-align: center;">(共同(一部)/全30回)</p> <p>【シミュレーション教育学領域】 (② 藤野 ユリ子 ・ 18 吉川 由香里 ・ ⑤ 安田 みなみ) (共同) コミュニケーションや看護倫理場面、臨床判断、継続教育に関するシミュレーション教育の教育設計について一連のプロセスを指導する。</p> <p>【基礎看護学領域】 (8 星 美和子 ・ 12 吉武 美佐子) (共同) 看護技術修得・フィジカルアセスメントに関する教育設計の一連のプロセスを指導する。</p> <p>【成人看護学領域】 (① 八尋 陽子 ・ 13 豊福 佳代) (共同) 成人看護学や看護倫理に関する教育設計の一連のプロセスを指導する。</p> <p>【老年看護学領域】 (3 穴井 めぐみ ・ (1) 白井 ひろ子) (共同) 老年看護学に関する教育設計の一連のプロセスを指導する。</p> <p>【母性看護学領域】 (2 谷口 初美 ・ 4 新小田 春美 ・ (2) 仲道 由紀) (共同) 母性看護学に関する教育設計の一連のプロセスを指導する。</p> <p>【小児看護学領域】 (17 中村 加奈子 ・ 20 渡辺 まゆみ) (共同) 小児看護学に関する教育設計の一連のプロセスを指導する。</p> <p>【精神看護学領域】 (16 石井 慎一郎 ・ 22 本武 敏弘) (共同) 精神看護学に関する教育設計の一連のプロセスを指導する。</p> <p>【公衆衛生看護学領域】 (5 松尾 和枝 ・ 15 山田 小織) (共同) 公衆衛生看護学に関する教育設計の一連のプロセスを指導する。</p> <p>【在宅看護学領域】 (10 酒井 康江) 在宅看護学に関する教育設計の一連のプロセスを指導する。</p>	共同(一部) ・メディア

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
看護研究科目	看護研究方法論 I	<p>看護研究に関する基礎的知識を身につける為に、看護研究のプロセスやResearch Questionに基づいた研究デザイン、研究倫理の考え方、研究計画の必要性、研究の公表方法、文献検索・レビューについて理解を深める。また、量的研究・質的研究・実験研究それぞれの枠組みや特長について理解を深める。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(2 谷口 初美／4回) 看護研究の概要と研究のプロセス、看護研究における基本的な研究デザイン、Research Questionに対応した研究デザインの選択方法について理解を深める。</p> <p>(① 八尋 陽子／2回) 研究計画の必要性、研究計画書の基本的事項と作成方法、学会発表や論文投稿等の研究の公表方法について理解を深める。</p> <p>(8 星 美和子／4回) 研究倫理の基本的考え方について理解を深める。また、量的研究に関する枠組みとして、関係する概念や量的研究の特長、研究プロセスについて理解を深める。</p> <p>(2) 仲道 由紀／2回) 質的研究に関する枠組みとして、関係する概念や質的研究の特長と研究プロセスについて理解を深める。</p> <p>(6 貞野 宏之／2回) 実験研究に関する枠組みとして、関係する概念や実験研究の特長と研究プロセスについて理解を深める。</p> <p>(12 吉武 美佐子／1回) 看護研究における文献検索・レビューの意義と方法について理解を深める。</p>	オムニバス方式 ・メディア

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
看護研究科目	看護研究方法論Ⅱ	<p>グローバルな視点をもって専門分野の研究及び実践の動向を分析し、課題を見出す能力を身に着ける為に、文献検索及びクリティークの方法を修得する。また修士論文作成に向けて、量的研究及び質的研究に関するデータ収集、データ分析方法について理解を深める。 (オムニバス方式/全15回)</p> <p>(12 吉武 美佐子/3回) 文献検索システムを用いて、国内及び海外の看護研究論文を検索する方法を修得する。研究デザインに合わせた文献クリティークの視点について理解を深める。</p> <p>(15 山田 小織/3回) 質問紙調査法の研究例をもとに、記述的研究及び相関関係の研究に関するデータ収集の方法や留意点について理解を深める。演習を通して、量的研究に関する文献の選択・クリティークの方法を修得する。</p> <p>(13 豊福 佳代/5回) 量的研究データを分析する為の統計解析方法について理解を深め、統計ソフトを用いて、基本的な記述統計及び検定を実施する。演習を通して、量的研究に関する文献の選択・クリティークの方法を修得する。</p> <p>(17 中村 加奈子/3回) インタビュー法や参加観察法の研究例をもとに、質的研究におけるデータ収集の方法や留意点、分析方法について理解を深める。演習を通して、質的研究に関する文献の選択・クリティークの方法を修得する。</p> <p>(2) 仲道 由紀/1回) 演習を通して、質的研究に関する文献の選択・クリティークの方法を修得する。</p>	オムニバス方式 ・メディア

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
看護研究科目	特別研究	<p>各看護専門分野の研究テーマに関する文献検索や研究課題の明確化、研究計画の立案と実施、それらの結果の分析及び考察を行い、修士論文としてまとめる。</p> <p>(全60回)</p> <p>(1 片野 光男) 全人的な視点からみたがん医療と緩和ケアに関するICT教材（ミッシェンタウン）を活用した看護教育の研究課題をもとに修士論文への一連の研究プロセスを教授する。</p> <p>(2 谷口 初美) Women's Health/Reproductive Health、シミュレーション学習、国際看護を研究テーマとする研究課題をもとにした修士論文への一連の研究プロセスを教授する。</p> <p>(3 穴井 めぐみ) 高齢者介護予防、笑いと健康、シミュレーション学習を研究テーマとする研究課題をもとにした修士論文への一連の研究プロセスを教授する。</p> <p>(4 新小田 春美) 女性のライフステージにおける健康課題、特に周産期のケア、新生児・乳幼児の環境適応と育児支援、母性看護学に関するシミュレーション教育等修士論文への一連の研究プロセスを教授する。</p> <p>(5 松尾 和枝) 対象者が生涯を通じて主体的にHealth Promotion活動を実践できるように、個人・集団・組織・地域への健康教育の方法や技術の開発に関する研究テーマについて、修士論文作成の一連の過程を教授する。</p> <p>(6 貞野 宏之) 看護の基盤となる「人間と環境」を中心テーマとして、情報処理と微生物実験の方法論によって、人間と情報環境、人間と環境微生物を研究課題として修士論文作成の一連の研究プロセスを教授する。</p> <p>(① 八尋 陽子) 成人看護学に関するシミュレーション教育等、アクティブ・ラーニングの実践・評価、がん看護を研究課題とした修士論文への一連の研究プロセスを教授する。</p> <p>(8 星 美和子) 脆弱な対象群 (Vulnerable populations)の健康やウェルビーイング、理論検証や看護管理に関する研究課題について科学的に探究する。研究の一連の過程及び修士論文作成を教授する。</p> <p>(② 藤野 ユリ子) シミュレーション教育、eラーニング、ICT教育などを活用した看護教育に関する教材設計や教材開発、実践の評価に関する研究課題をもとにした修士論文への一連の研究プロセスを教授する。</p> <p>(10 酒井 康江) 在宅看護学及び在宅看護教育を研究テーマとする研究課題をもとにした修士論文への一連のプロセスを教授する。</p> <p>(11 白井 ひろ子) 老年看護実践につながる概念やモデルの理解を深めるとともに、国内外の社会的動向や教育および研究の現状を分析的に探究する。その上で高齢者の生涯発達と適応、End-of-Life-Care、尊厳を守る看護実践、高齢者ケアに従事する看護職のストレスマネジメントなど老年看護における質向上を目指した研究テーマに基づき修士論文執筆に係る研究のプロセスを支援する。</p> <p>(12 吉武 美佐子) 看護技術に関する研究やヒューマンケアリングに関する研究、その他、基礎看護学分野における各自が関心を寄せる看護をテーマとする研究課題をもとに、修士論文作成の一連の研究プロセスを教授する。</p>	メディア

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
看護研究科目	(特別研究)	<p>(13 豊福 佳代) 成人看護学、および成人看護学に関するシミュレーション教育等を研究課題とした修士論文への一連の研究プロセスを教授する。</p> <p>(2 仲道 由紀) 養育期の家族機能や世代間における子育て支援、母性看護学に関するシミュレーション教育などの研究課題をもとにした修士論文への一連の研究プロセスを教授する。</p> <p>(15 山田 小織) 地域における個人・集団・組織を対象とした健康教育の方法、保健師の基礎教育及び現任教育の方法など、公衆衛生看護学に関するシミュレーション教育及び教材開発を研究課題とした修士論文への一連の研究プロセスを教授する。</p> <p>(16 石井 慎一郎) 国内外の精神保健看護学における文献検討および自らの関心領域をふまえ、研究課題を焦点化し、修士論文への一連の研究プロセスを教授する。</p> <p>(17 中村 加奈子) 小児看護及び小児看護学教育を研究テーマとする研究課題をもとにした修士論文への一連の研究プロセスを教授する。</p> <p>(18 吉川 由香里) シミュレーション教育、eラーニング、ICT教育を活用した看護教育を研究テーマとする研究課題をもとにした修士論文への一連の研究プロセスを教授する。</p> <p>(21 潮 みゆき) 成人看護学、および成人看護学に関するシミュレーション教育等を研究課題とした修士論文への一連の研究プロセスを教授する。</p> <p>(22 本武 敏弘) 国内外の精神保健看護学における文献検討および自らの関心領域をふまえ、研究課題を焦点化し、修士論文への一連の研究プロセスを教授する。</p>	

補足資料

学校法人福岡女学院 設置認可等に関わる組織の移行表

令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
福岡女学院看護大学				福岡女学院看護大学				
看護学部				看護学部				
看護学科	100	-	400	看護学科	100	-	400	
計	100		400	計	100		400	
福岡女学院看護大学大学院				福岡女学院看護大学大学院				大学院の設置（認可申請）
				看護学研究科				
				看護学専攻	3	-	6	
				計	3		6	
福岡女学院大学				福岡女学院大学				
人文学部				人文学部				
		3年次				3年次		
現代文化学科	105	5	430	現代文化学科	105	5	430	
言語芸術学科				言語芸術学科				
		3年次				3年次		
言語芸術コース	40	2	164	言語芸術コース	40	2	164	
英語教職コース	10	-	40	英語教職コース	10	-	40	
メディア・コミュニケーション学科	50	2	204	メディア・コミュニケーション学科	50	2	204	
人間関係学部				人間関係学部				
		3年次				3年次		
心理学科	100	4	408	心理学科	100	4	408	
子ども発達学科	105	4	428	子ども発達学科	105	4	428	
国際キャリア学部				国際キャリア学部				
		3年次				3年次		
国際英語学科	60	2	244	国際英語学科	60	2	244	
国際キャリア学科	90	3	366	国際キャリア学科	90	3	366	
計	560	22	2,284	計	560	22	2,284	
福岡女学院大学大学院				福岡女学院大学大学院				
人文科学研究科				人文科学研究科				
比較文化専攻(M)	5	-	10	比較文化専攻(M)	5	-	10	
臨床心理学専攻(M)	10	-	20	臨床心理学専攻(M)	10	-	20	
発達教育学専攻(M)	5	-	10	発達教育学専攻(M)	5	-	10	
計	20		40	計	20		40	
福岡女学院大学短期大学部				福岡女学院大学短期大学部				
英語科	100	-	200	英語科	100	-	200	
計	100		200	計	100		200	